

DVD一覧 【災害】

No.	タイトル	時間	作成年	製作	内容
No.1 (災害)	深刻化する気象災害	25分	2014年	(株)映学社	「集中豪雨」「土砂災害」「竜巻」「大雪」などについて、こうした気象災害がなぜ発生するのか、実験やCGを用いながら解説するとともに、“これらの災害から身を守るためにはどうすれば良いか”を示していきます。
No.2 (災害)	地震に備えて 我が家の危機管理 第1巻 日頃の対策と心構え	15分	2006年	(株)教配	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の崩壊と家具の転倒防止 ・家具の転倒や落下物から身を守る ・脱出経路の確保 ・二次災害を防ぐ・地域での取り組み ※阪神淡路大震災と新潟中越地震が中心
No.3 (災害)	地域で減災！ あなたが力 みんなが力	24分	2008年	東映(株) 教育事業部	<p>①災害発生！その時どうする？突然襲いかかる大地震の恐怖をドラマで再現</p> <p>②「自助」：自分の身は自分で守る、家の耐震補強や家具の固定などの「自助」の備えを示します。</p> <p>③「共助」：地域の力で命を守る自主防災組織や消防団とは何なのかを、その活動の様子を交えて紹介。</p> <p>④地域に広がる減災の輪、一般市民が集まって立ち上げた団体の活動や様子を紹介。</p> ※自主防、自治会向き
No.4 (災害)	幸せ運ぼう ～阪神・淡路大震災から学ぶ～ ※テキスト・CD-ROM 付き	—	2008年	「ビジュアル版 幸せ運ぼう」 制作委員会	<p>I こんなことがあった</p> <p>II 命を守る</p> <p>III 共に生きる</p>
No.5 (災害)	今すぐできる！家庭防災 ふせごう 一家具の転倒防災対策—	21分	2009年	総務省消防庁	<p>①凶器となる家具・家電</p> <p>②我が家の壁を知る</p> <p>③壁にしっかり固定するには</p> <p>④壁に固定できないときには</p> <p>⑤家具を固定した後は</p> <p>⑥家電を固定するには</p> <p>⑦結び「自助」「共助」「公助」</p>
No.6 (災害)	地震だ！その時どうする？ 自分を守り、みんなで助け合 おう	18分	2009年	総務省消防庁	<ul style="list-style-type: none"> ・大地震の被災地から ・地震はなぜ起こるの？ ・地震時の行動 ・いろいろな自主防災組織 ・どんな備えが必要か？ ・地震の時、力になったことは？ ・もっと詳しく学びたい方へ 「防災の心構え」(防災アドバイザートーク)
No.7 (災害)	津波から生き延びるために 知る・行動する	15分	2010年	総務省消防庁	<p>1 序章 近年の津波災害</p> <p>2 知る 津波はどのように発生するか</p> <p>3 知る 津波の恐ろしさ</p> <p>4 行動する 津波のサインを察知する</p> <p>5 行動する 適切に避難する</p> <p>6 結び 津波から生き延びるために</p>
No.8 (災害)	地震に備えて今、やるべきこ と (緊急地震速報が流れ たらどうする？)	23分	2011年	(株)映学社	日本では、ここ数年、震度6以上の地震が相次いで起こり、近い将来、もっと大規模な地震が起こるのではないかと懸念されています。私たちは大地震から、どのようにして命を守ったらいいのでしょうか。近年の代表的な地震の被害を検証しながら、その対策をさぐります。

No.9 (災害)	もし今、地震が起きたら ～命を守る備えと退避行動～	19分	2011年	東映(株) 教育事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えられてきた「地震時の心得」を検証する強い揺れの中で「火を消し、ドアを開け、机の下にかくれる」こうした行動がとれるのか、起震装置で実験。 ・場所の危険性を考える 海岸付近や崖の近くにいる場合など、それぞれの場所の危険性を知る。 ・緊急地震速報を行動に活かすには 緊急地震速報により、与えられる数秒をどのように活かせるのか。 ・事前の備え 実験などを通して、耐震補強や家具転倒防止の重要性を明らかにし、家庭内でできる備えの数々を紹介。 ・まとめ
No.10 (災害)	被災地から伝えたい テレビカメラが見た東日本大震災	105分	2012年	株式会社 仙台放送	<p>①記憶を未来へ ②気仙沼市 ③南三陸町 ④石巻市 ⑤女川町 ⑥仙台市 ⑦名取市 ⑧東松山市、松島町、利府町、塩竈市、七ヶ浜町、多賀城市、岩沼市、亘理町、山元町 ⑨未来への約束 ⑩資料編 被災状況</p>
No.11 (災害)	熊本地震から学ぶ こんな対策があなたを救う	26分	2016年	東映(株) 教育映像部	<p>平成28年4月発生の熊本地震の大きな特徴を5つ挙げ、そこから学ぶことのできる教訓を、被害に遭われた方のインタビューや資料映像に加え、各分野の専門家による解説を交えて紹介。(特徴1)想定外の揺れ(特徴2)安否確認にSNS(特徴3)避難生活の質(特徴4)具体的な備蓄品(特徴5)揺れに対する備え</p>